

戦争法案の施行前提に 自衛隊が部隊編成計画

「8月成立」日程表まで作成

小池氏「軍部独走の再現」と追及

参院安保特 審議中断、散会に

自衛隊内で「8月中の戦争法案成立・来年9月施行」を前提に、法案の実施計画が立てられていた。11日の参院安保法制特別委員会、日本共産党の小池晃議員が独自に入手して暴露した防衛省統合幕僚監部の内部文書「日米防衛協力のための指針（ガイドライン）及び平和安全法制関連法案について」で、国会・国民無視の計画が初めて明らかになりました。

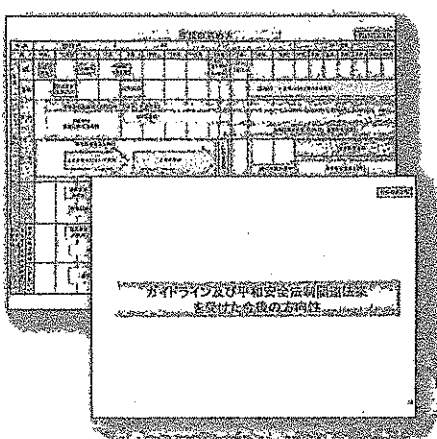
↓関連の面



質問する小池晃議員（11日、参院安保法制特別委員会）

防衛相は答弁不能となり、審議はたびたび中断。結局、途中散会となりました。

小池氏は「法案の成立を前提に部隊の編成計画まで出ている。絶対に許されず、法案を撤回すべき」と追及しました。中谷元



「日米防衛協力のための指針（ガイドライン）及び平和安全法制関連法案」についてと題する統合幕僚監部作成の内部資料に盛り込まれている今後の方向性。今後の進め方「日本共産党の小池晃議員が参院安保法制特別委員会に提出した資料から」

法案の概要、双方の関係を示したものです。「今後の進め方」とする日程表では、法案成立を前提に、最も早いパターンで「8月法案成立」、それから「6カ月以内の施行」開始として来年2月に施行を明記しています。また、7日に部隊派遣延長が閣議決定されたばかりの南スーダンPKO（国連平和維持活動）について、来年3月から「駆けつけ警備」を認めるなど、戦争法案を反映させる日程が具体的に示されています。

中谷氏は「ご提示していただいている資料がいかなるものかは承知をしていない」と、文書の真偽について答弁を避けました。小池氏は「大臣が知らないことで検討が進められているのは大問題だ」と追及。事実確認を求めたの

戦争法案撤回求める

小池氏会見 防衛相の責任問われる

日本共産党の小池晃議員は11日の参院安保法制特別委員会の散会后、記者団の求めに応じて会見し、同委員会で暴露した防衛省統合幕僚監部の内部資料の詳細を説明し、「戦争法案が国会で審議中にもかかわらず、統

に対し、中谷氏は「同じ表あり、法案の内容を先取りの『軍部の独走』と同じで題の資料、これは存在するよっなことは控えなければならぬ」との答弁に「これ以上内容の詳細には立ち入りせず、国会の審議が第一で、小池氏は「これでは戦前

中谷元・防衛相が内部資料について「いかなるものか承知していない」と答弁し、たことについて、中谷氏の監責責任を追及することを表明。法案の撤回をあらためて求めました。